



ふた×男、逆転なしの台詞入りモノクロイラスト集。



アナルオナ

成人向け



Rick's HOUSE

男だけど
妊娠できる
オメガ性の俺は
女だけど
妊娠させる
ことができる
アルファ性の
彼女

凜花と
交際をする
ことになった



凜花との
初めての
セックスは

初めて見る
凜花の裸に
まず見惚れた

「女なのにアルファ
なんて珍しいから…
変な体…じゃない…？」

そんな風に
恥じらう凜花が
可愛くてつい…





すると凜花も
たまらなく
なったらしく

上に乗っていた
俺を押し倒し
滅茶苦茶に
腰を振りたくる

「あっ♡あッ♡
止まんないッ♡
腰っ止まんない♡
お●んちゃん
気持ちイイよおっ♡」



処女と童貞だった
はずの俺と凜花は
どんどんセックスに
溺れていった――



ある日は
立ちバツクを
求められて

緊張しつつ尻を上げた

ずぶぶと深く
凜花が俺の
尻穴を犯す

思わ
ずは
し
た
な
い
喘
ぎ
の
声
が
漏
れ
た

75-271676

そもそも
凜花は俺より
ち●こが大きい

その事実には
気が付いたのは
兜合わせを
したときだった



それを指摘すると
凜花は少し
恥じらっていたが

「でもおっきい
お●んちんのお陰で
あなたをたくさん
イかせられます♥」

なんて
言われて
もう一戦した



凜花も俺も
セックスに
どんどん慣れて

どんどん
エッチに貪欲に
なっていた



凜花は
言葉責めが
好きみたいで

俺もそれに
感じてしまう

「あっ♡
すごい♡」

「おしりの穴♡
おちん●んを
ギョうて♡」

「おしりの穴
ずぼずぼ
きもちイイ
ですか？」

「ねえ♡
教えて♡」

「凜花の
お●んちんで
ずぼずぼって
好きですか♡」



「あっ♥あっ♥
ああアっ♥
もう無理い♥」

びっ

「無理ですっ♥」

「でちやうッ♥
でちやいますッ♥
ああ〜♥♥♥♥」

びっ

びっ

びっ

今日のえっちも
気持ちよかった
ですか…？

よかったです…♡

ふた×男、逆転なしの台詞入りモノクロイラスト集。

アルオメ②



成人向け



Rick's HOUSE

ふた×男、逆転なしの台詞入りモノクロイラスト集。

アリ



成人向け



Rick's HOUSE

オメガ性には
ヒートと呼ばれる
発情期がある
男だがオメガの
俺も例に漏れず

三ヶ月に
一度の熱に
浮かされていた





ヒート期のオメガは
アルファだけに分かる
強烈なフェロモンが出る

そのフェロモンに
あてられると
アルファも強制的に
強く発情してしまう

見舞いに来てくれた
凜花も例外ではなく――



「っはあ……ごめん、
弘也くん、私……ッ」



お互いに分かる
猛烈な色香で
凛花と俺の理性が
溶けていく

「ごめんなさい……
私いま……」

「どうしてもえっち
したいです……!!」

バツ

バツ

バツ

目の前に
差し出された
凍花の欲望

はっ
はっ
はっ

もっ

次の瞬間に俺は
ためらうことなく
むしゃぶりついていた

はっ
はっ
はっ

「あっ♡
ああっ♡」

「弘也さん♡♡」

「でっ…
でちゃいますッ♡」

そう言うとき、凜花は
不意に俺の頭を
強く引き寄せる







凛花の香りが
強く口内に広がる

その瞬間に俺は
全く意識せずに
オーガズムを
迎えていた



しかし凛花は再び
既にバキバキの
ち●ぽをすりよせる

「あの…もう…
もう挿れたい
ですっ♡」

「お尻でいっぱい
ずぼずぼしたい
れすうっ♡」



気がつけば
俺は後ろから
挿入されていて

快感のあまり
頭がしびれて
思考はもやが
かかっていた

ゴ
ゴ
ゴ

「あっ♡あっ♡
きもち♡♡」

「弘也さんの
おしり、すっごく♡♡。
きゅんきゅん♡♡」

お
ち
お
ち

♡♡♡

♡♡

「♡♡♡♡♡」

「ひもちい♡」

「弘也さんのおしり♡
きもちいい♡♡」



「あっ…だめ…♡
全然おさまら
ないれす…♡♡」

「おー！回
おー！回
おー！回…♡
おー！回…♡♡」





「あっ♡あっ♡
いっ♡いっ♡」

「いっ♡るの♡に♡
でるの♡に♡ッ♡
とまらない♡い♡♡」

「あは♡♡はあ♡
きもち♡すき♡い♡
れす♡♡♡♡♡」

あ♡

あ♡

